

秋季大会 2022 ご報告

テーマ：考え、議論する道徳の授業をつくる

日時：2022年11月6日（日）13：00～16：30

開催形態：Zoomによるオンライン開催

PROGRAM：

13：00-14：00 基調講演 『『考え、議論する道徳』の授業づくり』

講師：荒木 寿友 氏／立命館大学大学院教職研究科教授

14：10-15：40 シンポジウム 『『考え、議論する道徳』の授業づくり：子どもたちの『道徳性』を育むための工夫』

コーディネーター兼シンポジスト：荒木 寿友 氏／立命館大学大学院教職研究科教授

シンポジスト：星 美由紀 氏／福島県郡山市立郡山第三中学校教諭

木原 一彰 氏／鳥取市立対象小学校教諭

15：45-16：30 シンポジストとの懇談会（①15：45-16：00 ②16：00-16：15 ③16：15-16：30）

2022年11月6日（日）に、2022年度立命館学校教育研究会秋季大会をオンラインで開催いたしました。今年度の秋季大会テーマは、「考え、議論する道徳の授業をつくる」とし、校友教員の方をはじめとして、立命館大学の学生や大学院生、教育委員会関係者など、幅広い職種・年代の方々から100名を超えるお申込みがありました。

基調講演

新学習指導要領では、道徳は「特別の教科 道徳」となり、教科として位置づけられました。これまでの道徳と何が変わり、「考え、議論する道徳」とはどのようなものなのか、『いちばんわかりやすい道徳の授業づくり』の著書である立命館大学大学院教職研究科の荒木寿友氏に『『考え、議論する道徳』の授業づくり』というテーマでご講演いただきました。

講演では、学習指導要領の改正において道徳教育（道徳科）の最も大切なキーワードとなった「考え、



議論する道徳』について、理論的な側面からお話いただきました。

参加者からは、「なぜ、『考え、議論する道徳』なのか。道徳の初学者にとって、教科化への流れなど、基礎から何うことができた」「道徳教育に対する基本的な考え方から、その根底となる学術的なお話まで、様々な視点からお話を聞くことができ大変勉強になっ

た」「非常に分かりやすく説明がなされ、学習指導要領にも則り、現場実践に役立つ内容であった」等、感想が寄せられ、多くの学びをいただく貴重な講演会となりました。

シンポジウム

基調講演を受けて、シンポジウムでは「『考え、議論する道徳』の授業づくり：子どもたちの『道徳性』を育むための工夫」をテーマに、シンポジウムを開催いたしました。シンポジウムでは、基調講演者の荒木寿友氏にコーディネーター兼シンポジストを担っていただき、郡山市立郡山第三中学校教諭の星美由紀氏、鳥取市立大正小学校教諭の木原一彰氏より、「考え、議論する道徳」の実践について様々な視点からお話いただきました。また、Zoomのチャット機能を用いながら、随時、参加者からの質問を受け付け、双方向のシンポジウムとなりました。

参加者からは、「子どもの学びを大切にするという意味で、教材開発やエピソードファイルの活用により、自分事としてとらえるための工夫をされているということがよくわかった」「実際の実践をもとにして、道徳の授業づくりにおいて大事なことが何かということを知ることができた」「副教材は教材と子供をつなぐ架け橋になるというお話が心に残り、作成して実践したいと思う」「チャットを見ているだけでも思考が深まり、とても有意義な時間になった」といった感想をいただき、新しい気づきがたくさんある充実したシンポジウムとなりました。

シンポジストとの懇談会

基調講演とシンポジウム終了後は、3グループに分かれて3人のシンポジストとの懇談会を各15分行いました。各グループともに時間が足りないくらい活発な質疑応答や意見交換がなされ、大変有意義な時間となりました。

参加者からも、「各先生方と少人数で交流することができ、現場での悩みも共有でき、また意外なつながり

があったりして大変有意義であった」「日々の授業で悩んでいることを質問させていただき、シンポジストの先生を初め、他の参加者の皆様と一緒に考えることで悩みが少しすっきりした」「オンラインのワールドカフェのように楽しかった」といった感想をいただきました。

以上